



10月全校朝礼「ルールやマナーについて考える意味とは。」

校長 牧野英一

1 ルール「学校生活・集団生活を安全・安心に過ごすために必要な約束」

今回は学校生活でルールやマナーを考える意味について、考えてみたいと思います。皆さんは、「ルールとは何ですか。」と聞かれたら、何と答えますか。少し考えてみてください。

私は「ルール」とは、「学校生活・集団生活を安全・安心に過ごすために必要な約束」だと考えています。

ルールが存在しない集団はないと言われますが、そもそも「ルール」とは、集団に所属する一人一人が安全・安心な生活を送るために自然発生的に生まれた「必要最小限の約束」なのだと思います。

例えば、明日から、開二中で、時間、持ち物、服装を全て自由にしたとしましょう。皆さんは安心・安全で楽しい学校生活を送ることができるでしょうか。不可能ではないと思います。ですが、他の人のことを考えずに、自分勝手な行動を取る人がいたら、どうなるでしょうか。そういう意味では、ルールは、私たちの生活を守るための「セーフティネット」の役割を果たしているとも言えます。

ルールは、本来、「注意する側」と「注意される側」に分かれて一方的に指示を出すものではなく、「より良い学校生活を送るためには、自分はどうすればよいのか」という視点で、「双方向で互いに声をかけ合う」ことが大切だと思います。

2 「マナー学校生活・集団生活をより豊かに過ごすために必要な思いやり」

それでは、マナーとは何でしょうか。少し考えてみてください。

日本語では、態度、礼儀・作法などと訳されることが多く、一人ひとりの行動の仕方を表す言葉だと思います。私はマナーとは、「学校生活・集団生活をより豊かに過ごすために必要な思いやり」だと考えています。

もし、学校で皆さん一人ひとりがマナーを考えずに生活したら、どうなるでしょうか。自分最優先、あいさつやお礼は一切なし、そんな学校を想像しただけで嫌になってしまいますね。「マナー」は、学校生活や集団生活を送る上での潤滑油あるいはクッションのような役割を果たしていると思います。一人ひとりがマナーは、なぜ、必要なのか考え、相手のことを少し考える余裕をもてば、「学校生活はより豊か」になっていきます。

3 安全・安心で豊かな学校生活

それでは、配布した「安全・安心で豊かな学校生活」のプリントを見てください。これは、今まで細かく示されていた学校生活に関する内容を私がまとめたものです。生活の柱は、挨拶、時間、礼儀、環境整備、ルールやマナーの5つに整理されています。また、それ以外は、基本的な姿勢、善悪の判断、思いやり宣言の内容です。

次に、裏面の標準服の着用を見てください。今まで衣替えや服装などについては、細かい内容が示されていましたが、標準服などを着用する際の目的を示し、後は、基本的な内容だけが書いてあります。

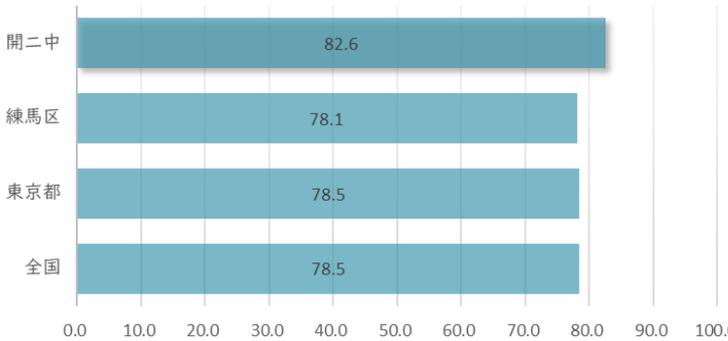
一つ一つの内容について、皆さん自身が、時間、場所、場面を考えて行動しなければならない内容になっています。実は、誰かに注意されて考えたり、直したりするのは簡単ですが、これからの時代は、一人一人が相手と双方向で考えて行動することが必要になります。標準服を考える際の留意点が、書かれています。

これが、本来のルールやマナーに対する考え方だと私は思います。いつ、どのような身だしなみをするべきかについては、模範解答はないのです。そういう意味で標準服は、実際の社会生活に向けて身だしなみを考えるための練習用の服装だとも言えると思いませんか。例えば、皆さんが大切な面接にジャージ姿でいったらどうなるでしょうか。恐らく、注意はされないと思います。ところが、実際の社会生活では、場面に応じた態度や身だしなみにより、厳しく評価されることがしばしばあります。

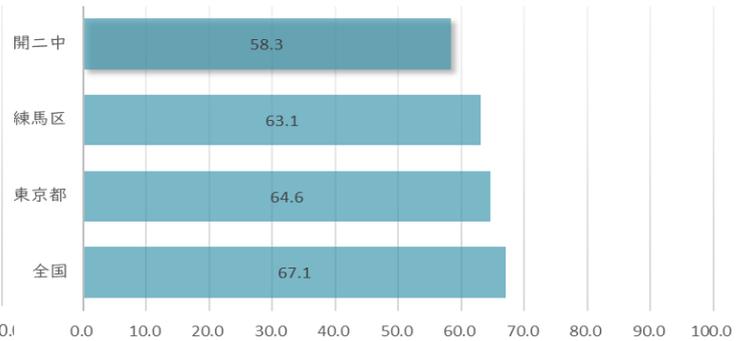
皆さんが、ルールやマナーの意味について、考えるきっかけにしてください。

令和4年度全国学力・学習状況調査結果 より

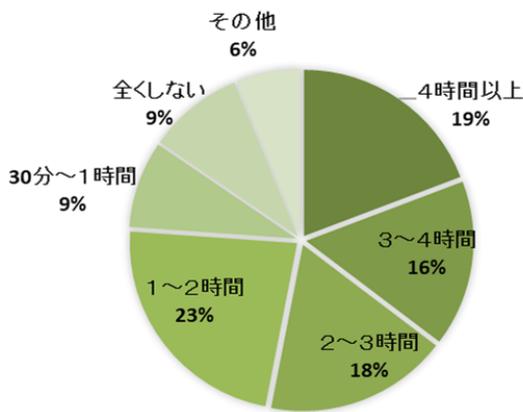
自分には、よいところがあると思いますか



難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか



平日、1日あたりどのくらいの時間携帯・スマートフォンでSNSや動画を視聴していますか(ゲームは除く)



グラフは、全国学力・学習状況調査(3年生対象)の「生徒質問紙調査」(アンケート)の結果の抜粋です。
(※グラフは『当てはまる』『どちらかという当てはまる』を合算した割合)

自己肯定感の低さはここ数年の課題でしたが、今年度は区や東京都、全国の平均を上回ることができました。

一方で、チャレンジ精神の低さなどが新たな課題として見られました。また、スマートフォン等の利用時間について、生徒の半数以上が平日2時間以上使用している現状が明らかとなりました。情報モラルや視力低下等の課題もありますが、「スマホ依存症」となっていないか、自身の生活を見直す必要がありそうです。

連合陸上競技大会 総合7位!

(男子の部 第5位/女子の部第8位)

- 3年 鈴木紬弘 第8位 3年 砲丸投
- 3年 竹内庚吾 第3位 3年 100m
- 3年 奥田渚沙 第8位 3年 100m
- 3年 山下琥太郎 第6位 共通 400m
- 3年 浦野玄脩 第5位 3年 走幅跳
- 2年 富永笙ノ介 第1位 2年 110mH [大会新記録]
- 2年 山口大澄 第2位 2年 砲丸投
- 2年 遠藤颯人 第8位 2年 走幅跳
- 2年 林 大葵 第3位 2年 1500m
- 2年リレー 第6位 遠藤颯人・山口大澄・西田遼祐・池上翔太
- 共通リレー第2位 奥田渚沙・竹内庚吾・富永笙ノ介・山下琥太郎
- 3年 佐藤日和 第1位 3年 100m
- 2年 佐藤真柚和 第1位 1・2年 走高跳 [大会新記録]
- 2年 田中優佳子 第7位 2年 100m
- 1年 木原 恵 第8位 1年 走幅跳
- 1年 佐藤舞楓 第3位 1年 100m
- 1年 豊 美織 第5位 1・2年 砲丸投
- 共通リレー第3位 佐藤真柚和・佐藤日和・原口純歌・田中優佳子



練馬区読書感想文コンクール

- 佳作 2年 堤 杏花
- 佳作 2年 桧垣 侑里
- 佳作 2年 赤嶺 澪
- 佳作 2年 熊澤 悠
- 佳作 1年 岡本 愛未
- 佳作 1年 関 菜那子



表彰の様子は学校HP『学校日記』でもお知らせしています。ご覧下さい。

